

なでしこ通信



令和4年2月10日発行

vol.178

三重県済生会明和病院 なでしこ 〒515-0312 三重県多気郡明和町大字上野435

TEL・FAX : 0596-53-0010 Eメール : nadeshiko@meiwa-saiseikai.jp ※重症心身障害児(者)に特化しているため旧名称を記載しております

新年のご挨拶

2021年は東京オリ・パラリンピックなどの明るい話題はありましたが、三重県でもコロナウイルスに翻弄された一年でした。やっと落ち着いたと思ったらオミクロン株の出現です。この通信が届く頃にはどうなっているのでしょうか。昨年は、二年にわたるコロナ禍の中でもなでしこでできることを模索した一年でした。入所では全員では集まれません、部屋単位で季節行事等を行い、個別活動にも

力を入れ、外出も行いました。短期入所や通所では重症心身障害ではない医療的ケアの必要なお子さんにも門戸を広げ、家族支援に力を入れています。小児の外来リハビリも多彩なお子さんが来られるようになってきました。相談支援ねむの木でも重症心身障害を主体としつつ小児全般に対象を広げています。コロナ禍の下でも支援の必要な方やご家族の力になれるように2022年も取り組み続けます

ので、今年もどうぞよろしくお願
いいたします。

(施設長：山川 紀子)



おいしかったよ!デザートバイキング

11月10日(水)、待ちに待ったデザートバイキングが開催されました。昨年は、新型コロナウイルス感染予防のためデザートバイキングを行うことができませんでした。今年は、感染予防対策をとりながら、利用者さんに喜んでもらえるよう工夫をしながら行いました。

利用者さんに好まれそうなケーキを8種類用意しました。今回は、ケーキを直接見て選ぶことは感染予防対策としてできなかったため、事前にケーキの写真をみてもらい4種類選びました。ケーキを食べる前に、紙粘土で作ったケーキに飾り付けを行い楽しみました。それぞれ選んだケーキが届くと、生



クリームをトッピング。皆さん、おいしそうにいただきました。全種類食べられる方もいれば、好みのケーキをおかわりする方もいました。

皆さんの嬉しそうな表情を見ることができて、

よかったです。今後も、楽しい企画を考えていきたいと思
います。

(看護師：澤井)





クリスマス会

～ Laugh(笑う) & music(音楽)! ～



たたきましよう”の歌を“サンタを呼びましよう”の変え歌にして唄い、15号、2号室の成人さんは“明日があるさ”の歌を“サンタが来るさ”に変えて、職員と唄って楽しみました。職員の元気な歌声に利用者さん全員が笑顔になり、ついにサンタさんが登場！利用者さん全員がサンタさんから素敵なクリスマスプレゼントを貰いました。

午後からはフロアと1号室の利用者さん。フロアは人数も多いので、療育以外の職員も大集合。大きなプロジェクターを使い、大画面でサンタさんからのビデオメッセージを見ました。3人のサンタさんの動画を見て時々笑いが起こり、にぎやかな雰囲気です。利用者さんと職員が一体となって“サンタが来るさ”を唄って、そしてなでしこ全員が

笑顔になったところでなんと3人のサンタさんが登場！利用者さんに素敵なクリスマスプレゼントを渡してくれました。

新型コロナウイルスの影響で、季節の行事に制限がかかって2年目になりました。感染対策を十分に行いながら利用者さん全員に同じ内容の活動が提供できるよう、クリスマスの担当職員で工夫しました。そして、“Laugh & music!”今年のテーマどおり、療育職員の得意な音楽で利用者さん全員を笑顔にすることができ、2021年を締めくくる楽しい行事となりました。

(入所保育士：大西)

12月23日(木)になでしこのクリスマス会が行われました。今年のクリスマス会は笑いと音楽がテーマ。

クリスマス会の日に合わせて、3人のサンタさんからなでしこにビデオメッセージが届きました。その内容は、「利用者さん全員が笑顔を見せてくれるとプレゼントを渡しに行くよ★」というものでした。そこでみんなが笑顔になる楽しい活動がスタート！

まず、午前中に活動したのは、子どもの利用者さんがいるチームたんぼぼ、それから15号室、2号室。一人1台ずつiPadを使用してサンタさんからのメッセージを見ました。たんぼぼチームは“手を



クリスマス会

～ 3匹の子ぶた～



通所では、12月20日(月)に一足早いクリスマス会を行いました。今回は、みんなで3匹の子ぶた～クリスマスVer.～の寸劇をしました。内容は、子ぶたの兄弟達はクリスマスパーティーをする為に、それぞれ準備し3番目の子ぶたの家に向かう途中、オオカミに遭遇するといった物語でした。利用者さんは、この日までにお面と衣装、家を作成し、心待ちにしていました。当日は、それぞれの

役になりきり、セリフを言える方、アクションで示してくれる方などそれぞれの表現方法で演技をしてくれました。みんな衣装も似合っていて、劇もすごく盛り上がりました。パーティーにはオオカミも参加し、オオカミのギターで「ジャングルベル」を歌いました。

そして、パーティーをしているとサンタクロースが登場!! 驚いた様子の利用者さん。

みんなの手形、足形で作ったサンタクロース、トナカイ、ツリーの飾りをプレゼントされ喜んでいました。

(通所保育士：奥野)



日帰り旅行

11月24日(水)、利用者さん4名と大仏山公園に日帰り旅行に行きました。

天気は曇り空で風も強く気温も寒くないか心配でしたが、終始笑顔で公園散策ができました。バスの中でも常に笑顔のえみかさん。大きな笑い声にみんなのテンションも上がり、職員から

も笑顔がこぼれました。散策中も表情よく声かけに手を挙げ嬉しそうに反応していたまゆかさん。1歳のはるかさんは初めての滑り台を職員に支えられて楽しんでいました。紅葉の綺麗な公園のベンチで、ゆったりとおやつタイムを楽しむこともできました。バナナカステラをおいし

そうに食べられるゆみこさん。のんびりした時間が流れる中、職員も楽しい時間を共有させてもらい、無事に日帰り旅行を終えることができました。

(介護福祉士：川北)



「ふくし」の魅力発信について

皆さんは「ふくし」という言葉にどのようなイメージを持っていますか？最近では福祉や介護を題材にしたドラマや映画を目にするのも増え、「ダイバーシティ」や「インクルージョン」といった言葉を耳にするのも増えてきました。それにもかかわらず「ふくし」というと、私達の身近にあるものでありながら、何か特別なものというイメージを持っている方がまだまだ多いように感じます。それは福祉の現場で働く我々が、社会に対して情報や魅力の発信をなかなかできていないことも要因の一つではないでしょうか。

そんな中、全国社会福祉法人経営者協議会では令和4年3月15日に「社会福祉ヒーローズ 東京2021」を開催するそうです。このイベントは社会福祉法人に所属する若手の職員がプレゼンターとなり、学生をはじめとする若者に向け「福祉の仕事の魅力」、「福祉の現場の改善」、「社会福祉法人の実践」などを発信するもので、今回で4回目となります。

第3回で最優秀賞を受賞した上馬場さんは「プレゼンの準備をする過程で自分の福祉の考え方が整理でき、やりたいことがより明確になった。」と語り、周囲からも「福祉のイメージが変わった」といった反応があったそうです。

実は三重県においても毎年11月11日の「介護の日」に合わせ、社会福祉協議会と様々な福祉・介護関係の団体がタッグを組み「ふくしの魅力発信事業」の一環として「みえ介護フェア」を開催しているのをご存じでしょうか。このイベントでも、実際に福祉の現場に携わっている人やこれから福祉を担う学生などが、各々の方法で世の中の人たちに「ふくしの魅力」を伝えています。私自身もここ数年、三重県介護福祉士会の一員として微力ながらもこのイベントに携わらせてもらっています。熱い思いを持った多くの仲間との出会いにワクワクし、いろいろな人が福祉や介護に関心を示していただけることにやりがいを感じています。しかし一方で、まだ「福祉」や「介

護」に対してネガティブなイメージを抱いている人も多いように感じるのも事実です。だからこそ、我々福祉の現場にいる人間がプライドを持ち、「ふくしの魅力」「介護の魅力」を再認識し、自ら発信し続けていく事が大切だと感じています。そのようなアクションを積み重ねていく事で今以上に「ふくし」が世の中に浸透し、すべての人が生きやすい社会になることを望んでいます。

(福祉新聞

令和3年11月2日号より)

(介護福祉士：出口)



毎月発行の「福祉ニュース」に掲載されている記事の中から一つ選び、その内容や感じた事をリレー形式で載せていきます。

..... 第14回みえる輪ネット

令和3年11月14日(日)に第14回みえる輪ネットがオンラインにて開催されました。申込者は100名を超え、多くの関係者の皆様にご参加いただきました。

今回のプログラムは、なでしこより「第2回『災害時ノート』とは？必要性とその作成について」[松阪以南における医療的ケア児とその家族の災害への意識及び抱

える課題に関するアンケート調査の報告」、そして世田谷区医療的ケア児相談支援センター(Hi・na・ta)管理者兼事業マネージャーの等々力寿純様より、「世田谷区医療的ケア相談支援センター(Hi・na・ta)の目指す先」についてご講演いただきました。

今回も対面での研修会をすることはできませんでしたが、オンラ

イン研修会であるからこそ、遠く離れた世田谷区の等々力寿純様と繋がることができたのではないかと考えます。これからもみえる輪ネットを通じて多くの方と繋がっていきけるよう、事務局の一員として精進していきたいです。

(指導員：別所)